# 旭化成：経営判断を高度化する「最強の知財戦略」の構造

旭化成は、知財を単なる「守りの権利」から「経営の判断材料（インテリジェンス）」へと進化させました。2022年の組織編編により、知財インテリジェンス機能を経営企画の直下に配置し、投資やM&A、新規事業の意思決定に直結させる独自のシステムを構築しています。

## 実務プロセスと成果の指標

### 「量」より「事業に効く質」のKPI

GG10（重点成長事業）の
有効特許比率

国内特許の実施比率
（将来予定含む）

### 外部連携・M&Aへの活用

IPLで相手の適合性を可視化

### 戦略DB（SDB）による運用力